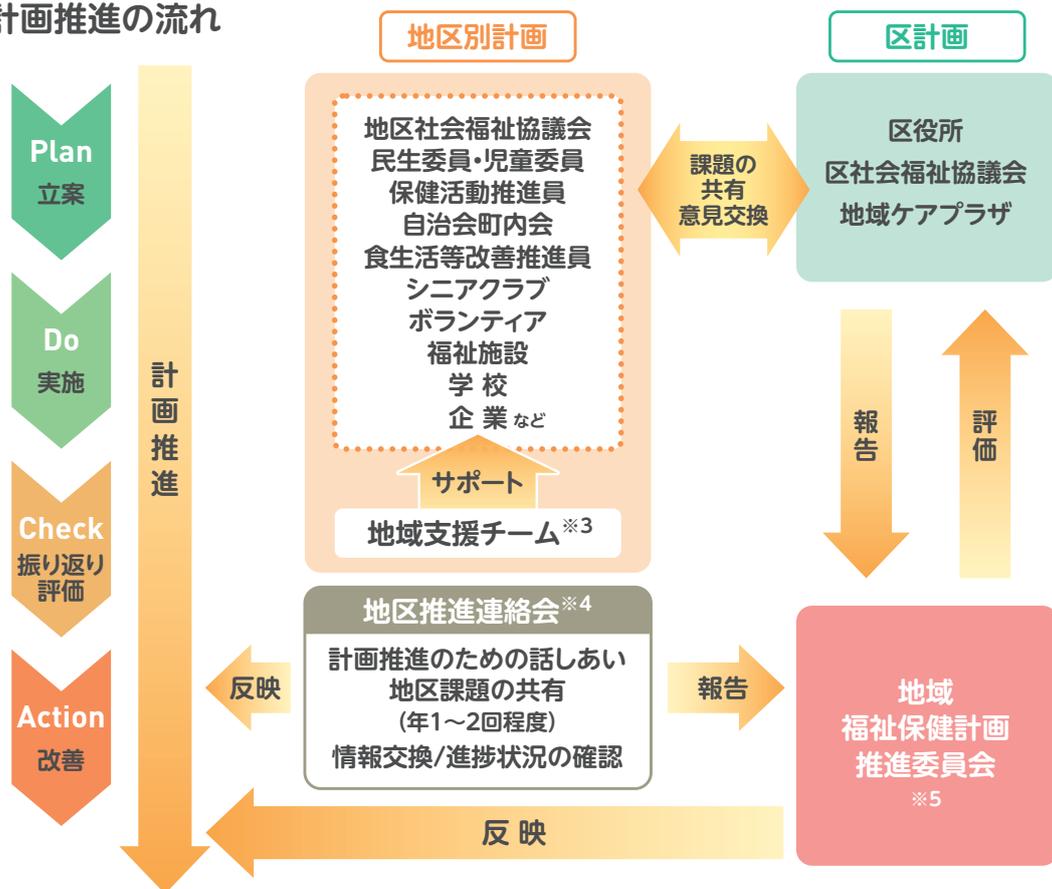


1 計画の推進体制

金沢ささえあいプランは、PDCAサイクルを活用しながら課題の共有や解決に向けた取組を計画的に進めていきます。

計画推進の流れ



※3・4については57ページをご覧ください。

※5については61ページをご覧ください。

(1) 地区別計画

地区ごとに連合自治会・町内会や、地区社会福祉協議会等の地域の活動団体が中心になり取組を進めます。

計画の策定・推進にあたっては区役所・区社協・地域ケアプラザ職員により構成される「地域支援チーム※3(57ページ参照)」が協働しながら地区の活動をサポートしていきます。

(2) 区計画

区役所・区社協・地域ケアプラザが、それぞれの役割を確認しながら協働して取組を進めます。

評価については、区民意識調査の結果や金沢区の置かれている状況等を踏まえ、総合的に実施します。

また、区内の福祉保健に携わる関係者や学識経験者等による「地域福祉保健計画推進委員」(※61ページ参照)の意見を受けながら、今後に向けて必要な取組を検討し、計画の推進につなげていきます。

2 各機関の役割

(1) 区役所

区計画の策定・推進の中心的な役割を担います。推進にあたっては、個別支援を通じて把握した地域の課題や潜在的な課題も認識しながら取組を進めます。また、部署を超えた連携による横断的な「地域と向きあう体制」を整備し、地区別計画の策定・推進等の地域支援に取り組みます。

(2) 区社協

区社協の事業や会員をはじめとしたネットワークを通じて地域課題を把握し、地域住民や社会福祉関係者等の参加・協力を得ながら、個別支援(一人ひとりの困りごとの解決等)と地域支援(住民同士のつながりや支えあい活動等の支援)を連動させて課題解決に取り組むことで地域福祉保健計画を推進します。

(3) 地域ケアプラザ

地域の身近な福祉活動の拠点として、区計画及び地区別計画の策定・推進について、区役所・区社協とともに取り組みます。また、業務や地域とのつながりを通じて把握した地域課題の解決に向けた活動や、地域の中での見守りや支えあう仕組みづくりを行う等、地域支援の中核的な役割を担っています。

※3 地域支援チームについて

最も身近な地縁組織である自治会町内会及び関係団体が、住民の安全・安心な日常生活のために、幅広い分野で主体的・継続的に取り組んでいる課題に対して、区役所・区社協・地域ケアプラザが一体となって支援することを目的に設置されています。

地区別計画の策定・推進支援についても、地域支援チームの主な活動になります。



▲ 地域の人を講師役に、まちの魅力や課題を知る取組である「まちあるき」を開催！



▲ チームメンバーの研修会では、より良い地域になるためにワークシートを使って意見交換も実施

※4 地区推進連絡会について

元々は第2期金沢ささえあいプランの推進母体でしたが、平成24年度から地区別計画にとどまらず、広く地域の課題を話しあう場として、年に1～2回程度会議を開催しています。

地区連合自治会・町内会や地区社会福祉協議会が中心となり、地域の様々な活動団体が情報交換を通じて交流・連携し、地域課題に取り組んでいける「場(=プラットフォーム)」となっています。



◀ ▲ 講義形式(写真上)やグループワーク(写真左)で地域のことを話しあいます